

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇塩ビリサイクル支援制度に採択決定

－高速・高剪断混合溶融機による塩ビ壁紙の材料リサイクル技術の開発－

## ■随想

◇レソト王国旅行記（12）（終）－レソト王国あれこれ（その2）－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■編集後記

## ■トピックス

## ◇塩ビリサイクル支援制度に採択決定

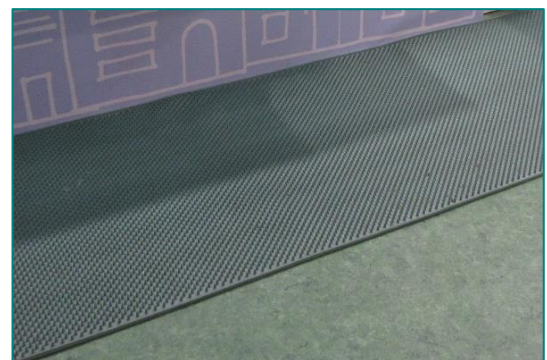
－高速・高剪断混合溶融機による塩ビ壁紙の材料リサイクル技術の開発－

塩ビ工業・環境協会(VEC)では塩ビのリサイクル促進を目的に2007年に「[塩ビリサイクル支援制度](#)」を創設して以来、新しいリサイクル技術等の開発に対して支援してきました。この度、昨年9月に応募のあった(株)照和樹脂の「高速・高剪断混合溶融機による塩ビ壁紙の材料リサイクル技術の開発」について協賛・支援が決定しました。支援制度として9件目になります。

塩ビ壁紙は、壁紙出荷量のほぼ90%を占め、その廃棄物のリサイクルは製造時の規格外品や工場端材等を除き、あまり進んでないのが現状です。これは、塩ビ壁紙が紙と塩ビ層から成る複合材であるため、単一素材と比べそのリサイクルが難しかったことなどによります。その壁紙を紙と塩ビに分離させる課題は、先に本支援制度の下で開発された[叩解法](#)により技術的解決の可能性が拓けています。

本テーマは、塩ビ壁紙を複合材のまま原料として利用し、コンパウンド製造工程で高速・高剪断混合溶融機を用いて細かく分散しながら塩ビと混練しコンパウンドにするリサイクル技術です。壁紙の塩ビ層には塩ビ樹脂とともに可塑剤、炭酸カルシウム等が使用されています。ここでは、紙成分も一緒に微粒化されて充填剤（フィラー）として構成されることとなります。混練装置では、高速回転の羽根によって高剪断や衝突による発熱を利用して、可塑化が進行しコンパウンドが得られます。良好な加工製品を得るため、このコンパウンドの均質性を高める混練条件を把握することがポイントと考えられています。

本テーマの用途として、滑り防止養生シートがあり、工事現場等での応用が予定されています。リサイクルが困難と考えられていた複合材に、付加価値の高い用途を開くものと期待されています。



養生シートの見本

[\(株\)照和樹脂](#)は、塩ビパイプや塩ビ製建材等を回収して、リサイクルパイプ・異形押出用コンパウンドを製造・販売する会社です。これまで培ってきた硬質塩ビリサイクルやコンパウンド技術をベースに、新たな材料リサイクルの技術開発に挑戦されています。

## ■ 随想

### ◇レソト王国旅行記（12）（終）－レソト王国あれこれ（その2）－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

#### 警察官

検問所が多いということもあり、レンタカーで走っていると、1日に何回か会話をする事になります。どの警察官も非常に礼儀正しく、丁寧です。ただ、残念なのは制服がヨレヨレ。今日も検問で止められましたが、最初は道路工事の人が車を止めようとしているのだと思ってしまいました(^\_^)

うっかり検問所を通り過ぎたら大変です。腰に拳銃ではなく、肩にライフルが標準装備ですから、検問突破車両には容赦なくライフルで撃って来るそうです。

#### 中国

レソト王国は99.7%がSotho族であるとお伝えしました。残る0.3%、そのほとんどが南アフリカ系白人、イギリス人、そして、中国人です。アジア系の方は、ほぼ全員が中国人です。

これまで訪問した国でもそうでしたが、中国のアフリカ進出、すごいものがあります。レソト王国でも、繊維、食品をはじめ、いくつもの中国系企業が工場を立ち上げ、建設でも少しでも大きな規模の現場は中国系建設会社が抑えています。このため、首都マセルにはチャイナタウンまでは行きませんが、かなり大きな中国人コミュニティがあるとか。

レソト王国の人にとっては、アジア人＝中国人のイメージが出来上がっており、「日本から来ました」というと、「日本って中国のどこにあるの?」と質問されてしまいました(-\_-)

#### 娼婦

独立記念日、若者たちがホテルのレストランを貸切り、パーティーをしていました。みなさん、歌や踊りを楽しんでいます。その中に、やたらと露出が多い服を着て、腰をくねらせて踊っている女性が。それを、ホテルのスタッフが顔をしかめて見えています。どう見ても素人女性ではないなあと思い、スタッフに聞いてみると、案の定、娼婦でした。招待もしていないのに、どこからかパーティーの情報を聞きつけ、入り込むのだとか。

「以前、エイズなどレソト王国にはなかった。彼女たち娼婦が感染源だ。間違っても買ってはいけない」とアドバイスされました(-\_-)

#### 素敵な人たち

到着初日、国際空港に両替所がなく、レソト王国の通貨で支払わなくてはならない前払い方式の携帯電話のカード購入ができず困っていたら、空港職員の方が「携帯電話を使えないと困るでしょ」とカードの購入代金を払ってくれました。

ホテルの庭師のお兄さんと仲良くなったら、毎朝、レンタカーを無料で洗車してくれたので、車はいつもピカピカでした。

ホテルにあるセキュリティゲートのお姉さんが中心となり、ホテルのスタッフたちが、わざわざ休暇を取って、洞窟探検に連れて行ってくれました。

地元の家族と仲良くなったら、チェックアウトの日、山道は危ないからと、同じ方向に用事があるわけでもないのに、山道を20キロメートルも車で先導し、見送ってくれました

(今回は首都から 80 キロメートルほど離れた、山の中、1軒もお店のない、ハイランドの小さな町のホテルを拠点にしていました)。

ホテル、年配のレストランのボーイさん、支配人にわざわざ日本から来たのだからサービスしなさいと交渉し、毎日、割引料金で食事ができるようにしてくれました。

などなど、ここには書ききれないほど、レソト王国の皆さんに、非常に親切にいただきました。



レソト王国から帰る日、見送りに来てくれた女子中学生。  
ちょっとオシャレをしています。  
男の子たちも一緒に来ていたのですが、  
女の子と一緒に写真を撮るのは恥ずかしいと、  
写真を撮ろうとしたら逃げちゃいました (\*^\_^\*)

2014年、レソト王国では前国防軍司令官がレソト王国軍兵士を殺害。これをきっかけに、クーデターが起こり、2014年7月30日、当時の首相を含む全野党党首が南アフリカ共和国に退避。このため、南部アフリカ開発共同体特別首脳会合が開催され、南アフリカ共和国副大統領が仲介人となり、沈静化。2015年2月、国民議会総選挙が実施され、モシシリ首相が就任。現在も、政治体制が安定しているとはいいい難い状況ですが、普通の人々は、本当に素朴で、いい人たちばかりでした。

レソト王国に日本人の人が行く機会はありません。しかし、アフリカにはまだ、こんなに素朴な人たちが住む国があることも、ぜひ覚えておいてください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

(終)

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

先日、越谷レイクタウンでイオン主催「触れる地球」のイベントのお手伝いをして来ました。子どもたちは今までの二次元の地図や地球儀でしか「生きた地球」を学ぶことが出来ません。頭では分かっているがなかなか実感が持てない今地球規模で発生している環境問題、「触れる地球」は実際の地球の1000万分の1というサイズで作られており、地球温暖化のシミュレーションや台風の発生メカニズム、クジラの回遊ルートなど、地球のダイナミズムをリアルに体感することができます。越谷レイクタウン Act Green room (mori3階)に行けば日本でも数台しかない「触れる地球儀」が常設されています。是非一度皆さんも体感してみませんか？ (鷹山)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 名原 克典

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)